

世界の貨物輸送業界における人工知能の見通し（～2025年）

【概要】

本調査では、輸送モード別（道路、鉄道、航空、海上貨物輸送）に貨物輸送業界における人工知能の主要な動向と用途を分析しています。さらに、貨物輸送事業に対する人工知能の破壊的な影響を分析し、普及の見通しについて説明しています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2025年までです。

【内容一覧】

エグゼクティブサマリー

調査の範囲と手法

物流業界の AI

- AI アプリケーションカテゴリとバリューチェーン
- AI システムの種類
- AI の学習サイクル
- AI 導入を推進する動向
- 進化する AI 予測インテリジェンスの性能

貨物フォワーディングにおける AI

- デジタル貨物仲介ビジネスモデル
- 貨物マッチメイキングのための AI
- 貨物輸送：AI 活用で簡素化された出荷プロセス
- FERO 社：荷送人向けの AI 搭載音声アシスタント
- Cargofy 社：AI 搭載仮想アシスタント

貨物輸送における AI

- AI：インテリジェント輸送の背後にある頭脳
- メンテナンス 4.0：予測分析の内部にある AI
- 道路輸送における車両の自動化：責任の移転
- 自動運転車両：AI 搭載の感覚機能を備えたアセット
- 道路貨物輸送の AI
- トラックの近代化取組みで戦略的パートナーシップが急増
- 鉄道貨物輸送における自動化レベル
- AI による鉄道ネットワーク環境全体の監視
- 鉄道貨物輸送における AI
- KONUX 予知保全システム：鉄道輸送
- 航空貨物輸送において今後必須の AI 導入
- 航空貨物パレット用の AI 搭載ロボットシステム
- 海運業界の課題とデジタル化の促進要因
- 自動化された海上貨物エコシステム
- 海上貨物輸送における AI
- イノベーション育成システムの改善に注力する海運業者

貨物輸送における AI 導入の特徴

- 物流業界における AI の特徴
- AI ビジネスインパクトマッピング
- 貨物輸送における AI 導入動向
- 貨物運送業者向けの AI 導入ロードマップ

成長機会と企業への提言

結論

付録

フロスト&サリバンについて